

腎疾患と酸化ストレスの関連性とは？



医薬品の プレオトロピック効果の探索

「成人の8人に1人が慢性腎臓病」と言われる昨今。慢性腎臓病は、QOL(生活の質)の低下に繋がる上、治療に透析が導入されると、医療費が急増します。そのため緊急かつ深刻な問題として重要視されているものの、病気の原因が多様多様であることなどから根本的な解決には少し時間がかかりそうです。私は「腎疾患と酸化ストレスの関連性」について研究し、既存の医薬品の中から「プレオトロピック効果」としての抗酸化作用を有する薬剤を探索し、付加価値(おまけ)を加えることを目指しています。このような一人二役な医薬品を用いることで、多種類の薬が処方されるいわゆる薬漬けや医療費の増大を防ぐことができるでしょう。このクスリを育てるといふ、いわゆる「育薬(いくやく)」研究を進めることで、尿をつくる、水分や血圧を調節するなど大切な役割を担う“腎臓”を“酸化ストレス”から守る効果的な道を追及していきます。

薬学部 薬学科 **門脇 大介** 教授



崇城大学

SOJO UNIVERSITY

薬学部	生物生命学部	工学部			情報学部	芸術学部			
薬学科	応用微生物 工学科	応用生命 科学科	機械工学科	ナノサイエンス 学科	建築学科	宇宙航空 システム工学科	情報学科	美術学科	デザイン学科

〒860-0082 熊本市西区池田 4-22-1

問い合わせ(入試課直通) TEL:096-326-6810

そうじょう大学 検索